

第3分科会報告（山村副会長）

第3分科会はテーマを「国・道の施策と教職員の資質・能力の向上について」と題して行われた。田邊研修部副部長が運営を取り仕切り、道中吉本研修部部長の進行で進められた。

猪股道特協指名理事の代理である野尻校長から、特別支援教育に関する体制の一層の充実について、小野田へき複連指名理事から人材確保と教職員の資質・能力の向上について提言があった。その提言を受け、道中研修部工藤幹事から学校における働き方改革の推進状況と部活動等の課題について、道公教高橋副会長から専科教員の配置と活用について追加提言があった。どの提言も学校現場の実態に即しており、管理職が学校経営運営していくにあたっての苦労や課題等が話され、今後どのようにしていくことが本道教育の振興につながっていくのかという観点を中心に据えたものだった。

提言に対して、道教委からは、特別支援教育課、教職員育成課、教職員課、教育政策課の課長補佐に臨席いただき、国や道の情勢はや施策について詳しい説明があった。どの課からも、管理職も含めて教職員の人材を育成するために、研修の機会や内容を充実させるよう取り組んでいくことが話された。また追加提言については、今後の見通し等についても説明があった。担当者の立場上もあるのか、踏み込んだ話までは聞けなかったが、今後私たちが学校経営していく上で参考になる話を聞かせていただいた。

第3分科会はテーマが幅広いため、提言や追加提言も多岐にわたり、それに対して道教委の皆さんも真摯に説明してくださるため、そのやりとりで時間が過ぎてしまい、参加者の発言の時間はほぼなかったというのが実情である。時間の制約があるので致し方ないことと思いつつも、特別支援教育、へき地複式教育は指名理事にも出ていただいていることから、テーマをこの2つに絞ってみるといっても今後考えられるのではないかという印象を受けた。